

## 国土強靱化は本格的な実行段階にある

- ・ 毎年度しっかり進捗管理を行い、効果的・効率的に施策を推進していく必要

## 基本計画推進のためプログラムの進捗管理を行うアクションプランを策定

- ・ 国土強靱化基本計画の着実な推進を図るため、アクションプラン2014を策定
- ・ 個別施策の進捗を極力定量的に把握し、「起きてはならない最悪の事態」を回避するための府省庁横断的な施策群であるプログラムの進捗管理を行い、各般の施策を実施

## 毎年度のPDCAサイクルの実践

- ・ 基本計画の推進とプログラムの不断の見直しの実行
- ・ プログラムの進捗状況を踏まえた継続的なアクションプランの見直しが必要



本年6月頃を目途に国土強靱化アクションプラン2015を策定

# 国土強靱化アクションプラン2015の策定方針について

アクションプラン2015の策定では、

- ①指標の充実や工程表の整理等による進捗管理、
  - ②最近の大規模災害を踏まえた取組等の充実を図るとともに、地域活性化と連携した取組や民間による取組促進、地域計画の策定推進・支援等に留意したプログラムの最適化、
- に取り組む

## ①進捗管理

- ・アクションプラン2014の施策の進捗状況の把握・評価(老朽化対策等のプログラム共通事項を含む)
- ・指標の充実[別紙1]
  - 現状値の迅速な把握
  - H30年度値の明示
- ・新たな指標を用いた進捗状況の把握[別紙2]
- ・重点プログラムの工程表整理



## ②プログラムの最適化

- ・最近の大規模災害を踏まえた取組やH27年度政府予算案に盛り込まれている施策の反映(ハード対策とソフト対策の適切な組み合わせ、国・地方公共団体・民間等との連携の観点)
- ・地域活性化と連携した国土強靱化の取組及び民間の取組促進に留意
  - 国土強靱化と地域活性化との連携に係るナショナル・レジリエンス懇談会提言の反映
  - 民間の取組促進施策の現状整理や事例集作成・周知による取組促進
- ・地域計画の策定推進・支援
  - 地域計画に基づき実施される取組みに対する国の支援の適切な実施や、地域計画策定モデル調査も踏まえたガイドラインの改定など、地域計画の策定及び同計画の円滑な実施を推進・支援

進捗管理の徹底、プログラムの充実・改善(推進計画等の見直し)による国土強靱化の効率的・効果的推進

国土強靱化アクションプラン2014において設定した重要業績指標（KPI）105個（再掲なし）について、①指標の見直し、②現状値（H26年度末値）の迅速な把握、③H30年度値の明示を検討

## ① 見直しを予定している指標（名称変更等は除く）… 7 個

・ プログラムにより適した内容の指標へ変更するもの… 1個

(旧) 【環境】浄化槽台帳システム整備自治体数 198自治体 (H23) → 300自治体 (H30)

(新) 【環境】災害復旧に対応した※浄化槽台帳システム整備自治体数 71自治体 (H25) → 110自治体 (H30)

※ 浄化槽台帳において、GIS（地理情報システム）を整備しているもの

・ 指標の目標をH26年度に達成見込みであり、新たな指標へ差し替えるもの… 6個

## ② 調査作業の前倒し、速報値の算出等により、新たに現状値の迅速な把握に努める指標… 30個

(アクションプラン2014時点で現状値を把握できていた指標49個と合わせると、計79個)

【国交】市街地等の幹線道路の無電柱化率      【国交】地震時等に著しく危険な密集市街地の解消面積 など

☆ 調査・集計に時間を要するため、H26年度末値の迅速な把握が困難な指標についても、H25年度末値であれば把握可能

## ③ H30年度の内外挿値を、新たに参考値として公表可能な指標… 6 個

(アクションプラン2014時点で目標年度がH30年度になっていた指標やH30年度よりも前に100%を達成する指標、62個と合わせると、計68個)

【厚労】上水道の基幹管路の耐震適合率 50%(H34),参考値42%(H30)      【国交】地籍調査進捗率57%(H31),参考値56%(H30) など

☆ 指標の出典元である計画が閣議決定で決められており、H30年度値の明示が困難な指標等については、当該計画の改定等により関連する数値目標が見直されるタイミングに合わせて対応

(平成27年2月末現在)

(その他) 国土強靱化アクションプラン2014においてKPIに選定されなかったその他の指標についても、関係府省庁において引き続き見直し作業を進めていることから、プログラムとの関連性や客観性等の観点から適当と判断される指標が新規に設定された場合は、アクションプラン2015において新たにKPIとして位置付けることを検討

**現状** 国土強靱化基本計画の着実な推進を図るため、以下のとおり個別施策ごと、プログラムごとの進捗状況を極力定量的に把握

## 【個別施策ごとの管理】（個別指標）

- ▶ 各プログラムの個別施策ごとに、それぞれの「起きてはならない最悪の事態」の回避に最も適合すると思われる指標を設定し、個別施策の達成度の把握、進捗管理を実施

## 【プログラムごとの管理】（重要業績指標 *KPI: Key Performance Indicator*）

- ▶ プログラムごとに、設定された個別指標の中から、プログラムの進捗等を説明する上で、最も適合すると考えられるものを重要業績指標 *KPI* として選定し、プログラムごとの達成度イメージの把握、進捗管理に活用

**課題** プログラム全体の進捗状況の把握、プログラム間の進捗の比較が困難

**対応方針** 国土強靱化アクションプラン2015より、プログラムごとに、当該プログラムに含まれる全ての個別指標を合成した統合進捗指数 *IPI* を導入し、プログラム全体の進捗状況の把握、プログラム間の進捗比較に活用

## 【全体の管理】（統合進捗指数 *IPI: Integrated Progress Index*）

- ▶ プログラムごとに、当該プログラムに含まれる全ての個別指標の現状の達成度と計画期間内の進捗率を同等に評価する統合進捗指数 *IPI* を算出
- ※ 統合進捗指数 *IPI* については、計画期間内に目標が全て達成されれば100となるように設定

○プログラムごとに、現状の達成度と計画期間内の進捗率を同等に評価する統合進捗指数 *IPI* (*Integrated Progress Index*) を算出

## ○IPIの定義 (案)

個別施策ごとの*Ipi*      
$$Ipi = (X_t / X_{30}) * 50 + ((X_t - X_{25}) / (X_{30} - X_{25})) * 50$$

プログラムの*IPI*      
$$IPI = \sum_{i=1}^n \frac{Ipi}{n}$$
      ※ 指標値を一定(100%)に維持するべき性質の施策の場合  $Ipi = X_t / X_{30} * 100$

## ○IPI算出のイメージ (アクションプラン2015時点)

個別施策	指標	基準年/基準値(%)	実績年/実績値(%)	目標年/目標値(%)
		アクションプラン2014 X <sub>25</sub> (25年度基準値)	アクションプラン2015 X <sub>26</sub> (26年度実績値)	X <sub>30</sub> (30年度目標値)
施策A(継続)	〇〇の整備率	10	30	80
施策B(25年度新規)	〇〇の公表率	0	20	100
施策C(継続)	〇〇の実効性の維持	100	100	100
施策D(継続)	〇〇の耐震化率	90	91	95

施策A :  $Ipi = 30/80 * 50 + (30 - 10) / (80 - 10) * 50 = 18.7 + 14.3 = 33$

施策B :  $Ipi = 20/100 * 50 + (20 - 0) / (100 - 0) * 50 = 10 + 10 = 20$

施策C :  $Ipi = 100/100 * 100 = 100$

施策D :  $Ipi = 91/95 * 50 + (91 - 90) / (95 - 90) * 50 = 48 + 10 = 58$

よって、統合進捗指数  $IPI = (33+20+100+58) / 4 = 53$

# 国土強靱化アクションプラン2015の構成イメージ(案)

国土強靱化アクションプラン2014の構成	
第1章	国土強靱化アクションプランの位置づけと構成  1 国土強靱化アクションプランの意義  2 アクションプランの構成 (1)プログラムごとの脆弱性評価 (2)各プログラムの推進計画 (3)プログラム推進のための主要施策
第2章	プログラムごとの脆弱性評価
第3章	各プログラムの推進計画
第4章	プログラム推進のための主要施策  【個別施策分野】 【横断的分野】
(別紙)	プログラムごとの脆弱性評価結果

国土強靱化アクションプラン2015の構成イメージ(案)	
第1章	国土強靱化アクションプラン2015策定方針  1 アクションプラン2015の意義及び策定方針 (1)進捗状況の把握等 (2)プログラムの最適化 (3)特記すべき着目点  2 アクションプラン2015の構成 (1)プログラムごとの進捗状況 (2)各プログラムの推進計画 (3)プログラム推進のための主要施策
第2章	プログラムごとの進捗状況
第3章	各プログラムの推進計画  進捗把握のための指標の充実等の実施 プログラム共通的事項に係る記述の追加
第4章	プログラム推進のための主要施策  【個別施策分野】 【横断的分野】
(別紙等)	(別紙1)プログラムごとの進捗状況 (プログラム共通的事項の進捗状況含む) (別紙2)KPI変更等の整理  (参考1)プログラムごとの工程表 (参考2)国土強靱化地域計画に基づき実施される取組に対する関係府省庁の支援について (参考3)民間の取組促進施策

# 国土強靱化アクションプラン2015の策定に向けたスケジュール(案)

事 項	3月			4月			5月			6月			7月～
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
国土強靱化 アクション プラン2015	アクション プラン策定	アクションプラン素案作成									推進本部決定		
	パブリック コメント									意見公募・ 取りまとめ			
地域計画策定 推進・支援	地域計画策定 ガイドライン 改定	ガイドライン改定版(案)作成										説明会 (アクションプラン2015・地域計画 ガイドライン改定版)	
	地域計画策定 モデル調査	H26モデル調査 (22団体)			(政府予算成立後) H27モデル調査実施団体募集・選定								
ナショナル・レジリエンス (防災・減災)懇談会	(アクションプラン2015等に 係る検討)	第19回	・地域活性化と連携した 国土強靱化の取組 について(案) ・アクションプラン 2015構成(案)		第20回	・アクション プラン 2015素案 の検討		第21回	・アクションプラン 2015素案 ・地域計画策定ガ イドライン改定版 (案)等			第22回	
	(次期基本 計画に向 けた検討)											(参考) ・リスクシナリオ意見 聴取結果のとりまと め	
(参考) 次期脆弱性評価に向けた 検討	リスクシナリオの対象となり得る事象の選定、外部有識者から意見聴取を踏まえたリスクシナリオの検討												